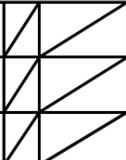


平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	再審査事件等処理システムに要する経費			担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課社会保険審査調整室	黒田 修			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会保険審査会は、社会保険各法(健康保険法、船員保険法、厚生年金保険法、国民年金法等)に関する処分の再審査請求等に係る裁決機関であり、その事務局である社会保険審査調整室は、すべての事件のデータ管理のため「再審査請求等事件管理システム」を構築するなど、事務処理の効率的、効果的な遂行を図っている。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	再審査請求事件等の処理経過等のデータ管理、統計資料の作成、裁決例の活用等								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算の状況	当初予算	12	8	8	12	89		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	12	8	8	12	89			
	執行額	9	9	9					
執行率(%)	75%	113%	113%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	75%	113%	113%						
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医療給付適正化業務庁費	11	88	事件管理システムの機器更改・改修経費による増					
	職員旅費	1	1						
	計	12	89						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	再審査請求等の処理件数	事務処理の効率化を通じて再審査請求等の円滑な処理に貢献するため、処理件数を目標値にしている。	成果実績	件	2,003	2,056	2,161	-	
			目標値	件	2,000	2,000	2,000	-	2,000
	達成度	%	100	103	108	-			
根拠として用いた統計・データ名(出典)	社会保険審査会における再審査請求等受付・処理状況								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	再審査請求等の処理件数	活動実績	件	2,003	2,056	2,161			
当初見込み		件	2,000	2,000	2,000	2,000			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	X:執行額/Y:直近10年の受付件数	単位当たりコスト	円/件	553	519	493	-		
		計算式	X/Y	8,541,000/15,439	8,737,410/16,819	8,847,482/17,949	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
	施策	施策目標I-9-1 データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度	
		再審査請求等の処理件数	実績値	件	2,003	2,056	2,161	-	-	
			目標値	件	2,000	2,000	2,000	-	2,000	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	社会保険審査会は、社会保険各法(健康保険法、船員保険法、厚生年金保険法、国民年金法等)に関する処分の再審査請求等に係る裁決機関であり、その事務局である社会保険審査調整室は、すべての事件のデータ管理のため「再審査請求等事件管理システム」を構築するなど、事務処理の効率的、効果的な遂行を図っている。									
	経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			-	成果実績	-	-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	-	
達成度				%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
国 必 要 投 入 の 費 用	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	再審査請求等は近年増加傾向にあり、国民のニーズ、優先度ともに高い。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	社会保険の処分に関する不服申立制度における審査機関であり、国が実施すべき事業である。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	社会保険の処分に関する不服申立に対する行政の最終判断を行い、国民の権利利益の救済を図る事業を担っている。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○								
事業の 効 率 性	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	競争性が確保されており、妥当である。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	単位当たりのコストは平準的に推移しており、妥当である。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的の使途に限定している。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-							
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-							
事業の 有 効 性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	効率的・効果的な事務処理に必要な機能を有するシステムを構築している。							
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	処理件数は目標値を上回っている。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	処理件数は見込みを上回っている。							
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	システムは効率的な事務処理の遂行に活用されている。								

<b>関連事業</b>	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
<b>点検・改善結果</b>	点検結果	これまでと同様、事業目的に沿った予算を執行している。				
	改善の方向性	毎年度、見込みを上回る活動実績があるので、引き続き適正に予算を執行していく。				
<b>外部有識者の所見</b>						
点検対象外						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
現状通り						
<b>備考</b>						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	287	平成23年度	261	平成24年度	226	
平成25年度	259	平成26年度	271	平成27年度	281	
平成28年度	275					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省(9百万円)

(再審査請求事件の処理経過等のデータ管理、統計資料の作成、裁決例の活用等)※うち経費2百万円

【一般競争契約(最低価格)】

A. ニューコン(株)  
7百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

